

機外配線要領

●セパレート型はハイドロユニットと熱源ユニットのそれぞれに電源工が必要です。

■標準仕様/ポンプ組込型・標準仕様/ポンプレス型・ブライン仕様(ポンプレス) 共通

ハイドロユニット/ポンプ組込仕様

機種名	電源周波数 (Hz)	金属管・合成樹脂管配線		空中暗きよ配線 注)4		※1 手元開閉器使用の場合		※2 配線用遮断器使用の場合 定格電流 (A)	※2 漏電遮断器使用の場合 (地絡, 過負荷, 短絡保護兼用)	接地線(銅)mm ² 以上		最大運転電流 注)9 (A)
		IV電線		CVケーブル		開閉器容量 (A)	ヒューズ容量 (A)			※1	※2	
		最小電線太さ	最大こう長	最小電線太さ	最大こう長							
UWHY30B (E,H,C) UWHY40B (E,H,C) UWHY50B (E,H,C)	50/60	2mm ²	26m	2mm ²	26m	15	15	15	15A, 30mA, 0.1sec.以下	2	2	10

- 注) 1. 配線要領は内線規程 (JEAC8001) に基づいて決められています。
 2. 電源配線 (金属管・合成樹脂管配線) については、同一管内に収める電線数3本以下の場合を示します。
 3. 電源配線のこう長は、電圧降下2%時の電線最大こう長を示します。
 4. 空中暗きよ基準でケーブルラック配線を行う場合は、国土交通省の電気設備工事監理指針に従い適切なものを選定してください。
 CVケーブルを電線管配線とする場合には、最大運転電流に1.1倍 (余裕係数) を乗じた値に対して、内線規定に従い電線の許容電流に電流減少係数を乗じた値で配線太さを選定してください。
 5. ヒューズはB種ヒューズを使用する場合を示します。
 6. 漏電遮断器または配線用遮断器の定格遮断容量は、現地設備と工事の施工内容により各々異なりますので、遮断器取付箇所における短絡電流を計算 (推定) し、それに充分耐えるだけの遮断容量を有する適正な遮断器を選定してください。その都度計算出来ない場合は、電気技術基準調査委員会においてJEAC8701「低圧電路に使用する自動遮断器の必要な遮断容量」が発行されていますので、それに基づいて現地設備と工事の施工内容に適合する遮断器を選定してください。
 7. 漏電遮断器を必ず設置してください。(高調波対応品)
 (本機はインバータ装置を有するので、漏電遮断器自体の誤作動を防止する為、高調波対応品を使用してください。)
 8. 漏電遮断器が地絡保護専用の場合には、ヒューズ付負荷開閉器または配線用遮断器と組合わせて使用してください。
 その場合ヒューズ容量または配線用遮断器の定格電流と同等以上の定格電流をもつ漏電遮断器を使用してください。
 9. 最大運転電流にポンプ電流を含みます。
 10. ハイドロユニット~熱源ユニット間の連絡配線には2心線を用い、3心以上の線は使用しないでください。
 11. 電源配線と連絡配線は必ず離してください。
 12. 連絡配線長さは、下記制限を越えると伝送異常を起こす場合がありますので必ず守ってください。
 ・最長配線長1000m以下 ・総配線長2000m以下

●ハイドロユニット~熱源ユニット間連絡配線

シース付ビニルコード又は、ケーブル (0.75~1.25mm², 2心)

シース付ビニルコード及びケーブルの例

VCTF	JISC3306
VCTFK	JISC3306
CVV	JISC3401
VVR	JISC3342
VCT	JISC3312

ハイドロユニット/ポンプレス仕様

機種名	電源周波数 (Hz)	金属管・合成樹脂管配線		空中暗きよ配線 注)4		※1 手元開閉器使用の場合		※2 配線用遮断器使用の場合 定格電流 (A)	※2 漏電遮断器使用の場合 (地絡, 過負荷, 短絡保護兼用)	接地線(銅)mm ² 以上		最大運転電流 (A)
		IV電線		CVケーブル		開閉器容量 (A)	ヒューズ容量 (A)			※1	※2	
		最小電線太さ	最大こう長	最小電線太さ	最大こう長							
UWHY30BL (E,H,C,Z) UWHY40BL (E,H,C,Z) UWHY50BL (E,H,C,Z)	50/60	2mm ²	86m	2mm ²	86m	15	5	5	5A, 30mA, 0.1sec.以下	2	2	3

- 注) 1. 配線要領は内線規程 (JEAC8001) に基づいて決められています。
 2. 電源配線 (金属管・合成樹脂管配線) については、同一管内に収める電線数3本以下の場合を示します。
 3. 電源配線のこう長は、電圧降下2%時の電線最大こう長を示します。
 4. 空中暗きよ基準でケーブルラック配線を行う場合は、国土交通省の電気設備工事監理指針に従い適切なものを選定してください。
 CVケーブルを電線管配線とする場合には、最大運転電流に1.1倍 (余裕係数) を乗じた値に対して、内線規定に従い電線の許容電流に電流減少係数を乗じた値で配線太さを選定してください。
 5. ヒューズはB種ヒューズを使用する場合を示します。
 6. 漏電遮断器または配線用遮断器の定格遮断容量は、現地設備と工事の施工内容により各々異なりますので、遮断器取付箇所における短絡電流を計算 (推定) し、それに充分耐えるだけの遮断容量を有する適正な遮断器を選定してください。
 その都度計算出来ない場合は、電気技術基準調査委員会においてJEAC8701「低圧電路に使用する自動遮断器の必要な遮断容量」が発行されていますので、それに基づいて現地設備と工事の施工内容に適合する遮断器を選定してください。
 7. 漏電遮断器を必ず設置してください。(高調波対応品)
 (本機はインバータ装置を有するので、漏電遮断器自体の誤作動を防止する為、高調波対応品を使用してください。)
 8. 漏電遮断器が地絡保護専用の場合には、ヒューズ付負荷開閉器または配線用遮断器と組合わせて使用してください。
 その場合ヒューズ容量または配線用遮断器の定格電流と同等以上の定格電流をもつ漏電遮断器を使用してください。
 9. ハイドロユニット~熱源ユニット間の連絡配線には2心線を用い、3心以上の線は使用しないでください。
 10. 電源配線と連絡配線は必ず離してください。
 11. 連絡配線長さは、下記制限を越えると伝送異常を起こす場合がありますので必ず守ってください。
 ・最長配線長1000m以下 ・総配線長2000m以下

●ハイドロユニット~熱源ユニット間連絡配線

シース付ビニルコード又は、ケーブル (0.75~1.25mm², 2心)

シース付ビニルコード及びケーブルの例

VCTF	JISC3306
VCTFK	JISC3306
CVV	JISC3401
VVR	JISC3342
VCT	JISC3312

熱源ユニット

機種名	電源周波数 (Hz)	金属管・合成樹脂管配線		空中暗きよ配線 注)4		※1 手元開閉器使用の場合		※2 配線用遮断器使用の場合 定格電流 (A)	※2 漏電遮断器使用の場合 (地絡, 過負荷, 短絡保護兼用)	接地線(銅)mm ² 以上		最大運転電流 (A)
		IV電線		CVケーブル		開閉器容量 (A)	ヒューズ容量 (A)			※1	※2	
		最小電線太さ	最大こう長	最小電線太さ	最大こう長							
UWUP400DS (E,H,C,Z)	50/60	14mm ²	39m	8mm ²	23m	60	50	50	50A, 30mA, 0.1sec.以下	3.5	3.5	45

- 注) 1. 配線要領は内線規程 (JEAC8001) に基づいて決められています。
 2. 電源配線 (金属管・合成樹脂管配線) については、同一管内に収める電線数3本以下の場合を示します。
 3. 電源配線のこう長は、電圧降下2%時の電線最大こう長を示します。
 4. 空中暗きよ基準でケーブルラック配線を行う場合は、国土交通省の電気設備工事監理指針に従い適切なものを選定してください。
 CVケーブルを電線管配線とする場合には、最大運転電流に1.1倍 (余裕係数) を乗じた値に対して、内線規定に従い電線の許容電流に電流減少係数を乗じた値で配線太さを選定してください。
 5. ヒューズはB種ヒューズを使用する場合を示します。
 6. 漏電遮断器または配線用遮断器の定格遮断容量は、現地設備と工事の施工内容により各々異なりますので、遮断器取付箇所における短絡電流を計算 (推定) し、それに充分耐えるだけの遮断容量を有する適正な遮断器を選定してください。
 その都度計算出来ない場合は、電気技術基準調査委員会においてJEAC8701「低圧電路に使用する自動遮断器の必要な遮断容量」が発行されていますので、それに基づいて現地設備と工事の施工内容に適合する遮断器を選定してください。
 7. 漏電遮断器を必ず設置してください。(高調波対応品)
 (本機はインバータ装置を有するので、漏電遮断器自体の誤作動を防止する為、高調波対応品を使用してください。)
 8. 漏電遮断器が地絡保護専用の場合には、ヒューズ付負荷開閉器または配線用遮断器と組合わせて使用してください。
 その場合ヒューズ容量または配線用遮断器の定格電流と同等以上の定格電流をもつ漏電遮断器を使用してください。
 9. 熱源ユニット~ハイドロユニット間、熱源ユニット~熱源ユニット間の連絡配線には2心線を用い、3心以上の線は使用しないでください。
 10. 電源配線と連絡配線は必ず離してください。
 11. 連絡配線長さは、下記制限を越えると伝送異常を起こす場合がありますので必ず守ってください。
 ・最長配線長1000m以下 ・総配線長2000m以下

●熱源ユニット~ハイドロユニット間連絡配線

シース付ビニルコード又は、ケーブル (0.75~1.25mm², 2心)

●熱源ユニット~熱源ユニット間連絡配線

シース付ビニルコード又は、ケーブル (0.75~1.25mm², 2心)

シース付ビニルコード及びケーブルの例

VCTF	JISC3306
VCTFK	JISC3306
CVV	JISC3401
VVR	JISC3342
VCT	JISC3312